

令和6年度 校内研修計画

新潟市立桜が丘小学校 学びチーム

1 研修主題

話し合う活動の中で進んで学び、考えを深める子どもの育成
～子どもと共に成長する教師の在り方を見つめて～

2 教育ビジョン（学びチーム）

目指す子どもの姿	進んで学び、考えを深める子
重点課題	話し合うことで根拠を探り、考えを深める力の向上
達成目標	考えを話し合うことで、自分の考えが深まったと答える子どもが57%以上

3 昨年度の成果と課題（成果○ 課題△）

（1）新潟市生活・学習改善調査から

質問項目	4年	5年	6年	R5 自校	市平均
43 授業で、自分の考えを進んで伝えています。	76.4	63.4	58.3	68.7	73.2
47 普段の授業では、授業の終末に学習内容を振り返る活動を行っている。	79.8	71.1	82.2	76.0	79.0
48 普段の授業では、友達同士で話し合う活動を行っている。	96.6	88.9	100%	92.7	91.4

○授業の中で子どもたちが話し合ったり、振り返ったりする場を教師側が確保することができている。

△子どもたちは自分の考えを進んで伝えていることを苦手としている。

（2）研究のまとめから

○単元をデザインすることで、子どもに安心感が生まれ、自ら活動し考えを深めていった。

○目的・相手・活動の意識をもたせることで、子どもが自ら活動へ向かっていった。

○子どもの実生活との関連を図ることで、経験が思い起こされ、課題が自分事になった。

△子どもが探究する基となる「追究意識」を醸成する必要があった。

△意識の変容を見取るために、表現する力（主に書く力）を高める必要があった。

4 研修の内容

今年度も昨年度に引き続いて「話し合う」活動に重点を置きながら、考えを深める子どもを育成していく。「話し合う」の定義は以下の通りである。

話し合う	課題解決のために積極的に人に尋ね、相手の考えを聴いて、自らの考えに取り入れる活動。
------	---

加えて、4つの意識（目的・相手・活動・追究）を基にしながら、教師と子どもが単元を創り上げていく単元デザインにも主眼に置く。また、教師が意識の変容を見取ったり、子どもが学びを自覚したりするために振り返りの表現力（主に書く力）を高められるようにしたい。

上記のことを踏まえ、以下の活動を取り入れながら研究主題に迫っていききたい。

（1）子どもの4つの意識を基にした単元のデザイン

（2）子ども同士が考えを話し合える場の設定

（3）学びを自覚する振り返りの場の設定

4つの意識	目的：活動のゴール 相手：人 活動：コツやポイント 追究：子どもの想い
-------	-------------------------------------

5 研修方法

（1）授業交流会の実施

・9月中旬と12月上旬の計2回、それぞれ3週間程度の期間を設ける。それぞれの期間の中で各学年の代表者1名が授業を行う。ただし、わかば学級は1組～3組、4組～6組の2つに分かれる。また、級外職員で一つの学年とする。

・学習指導案は作成しない。ただし、公開する授業を含めた単元のデザイン、本時の主な手立て等は学びチームが示す書式に従って示された期日までに研究主任に提出する。

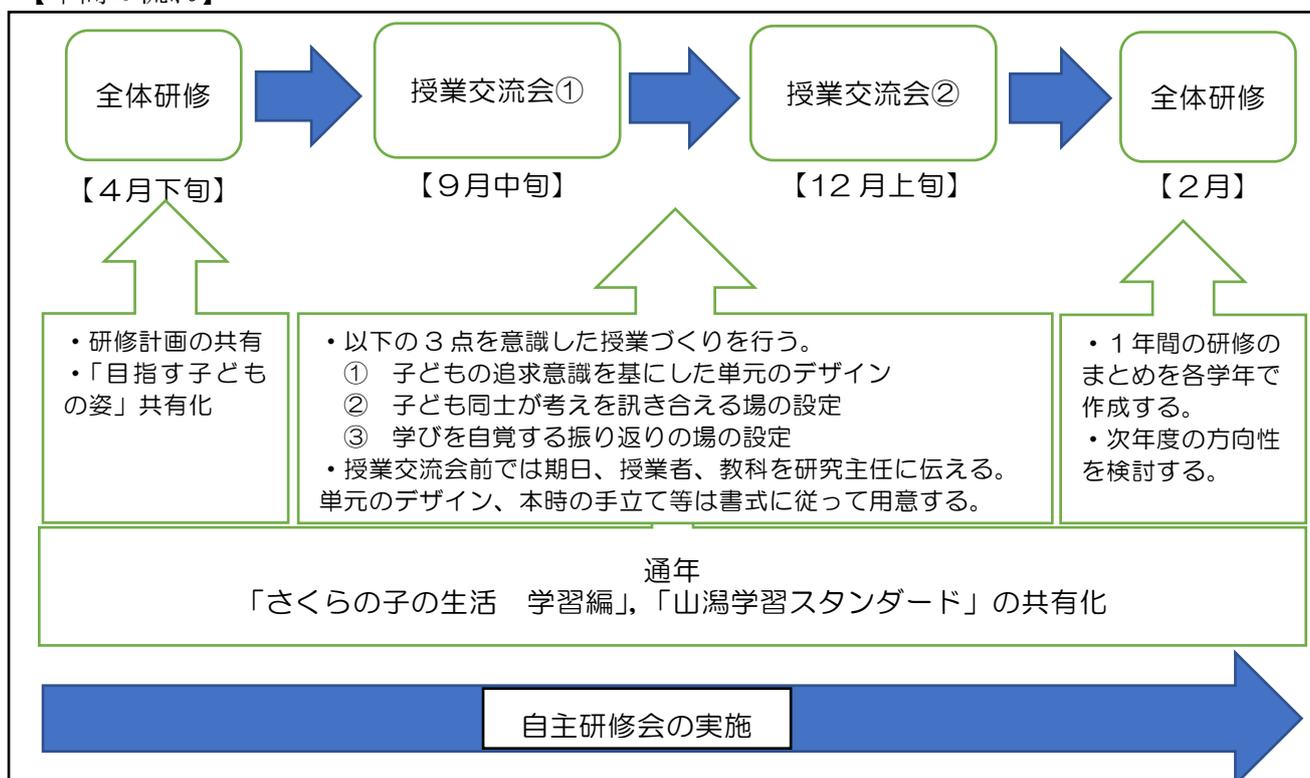
- ・期間中の授業は誰が参観しても良い。また、途中の入退室も可とする。ただし、自分の該当学年の授業は参加する。参加する際は、学び部から示された記入用紙を用いて気付いたことを記録していく。
- ・実施する教科は自由とする。ただし、単元デザインの観点から一定の時数がある単元、題材を選択する。また、本時は中盤以降となるようにする。
- ・授業を終えた日の放課後に授業者、参観者で15分間の座談会を設ける。

(2) 自主研修会の実施

- ・当校の職員が講師となり、不定期に研修会を行う。あくまでも自主的なものであるため、参加するかどうかは個人で決定する。
- ・1回の時間は質疑応答等を含め、概ね30分以内とする。
- ・研修主題と関連がないものも可とする。以下に例を挙げる。
 - ① 実践発表（教室で行っていることをそれぞれ発表）
 - ② 得意分野を生かしたミニ講座
 - ③ ICT活用やiPadの実践のシェア（実技講座も可）
 - ④ 明日の授業づくりや発問づくりを行う（道徳などで可能）
 - ⑤ 新潟市マイスターへの教科に関する質問タイム

など

【年間の流れ】



6 その他の取組

(1) 家庭学習の充実

- ・全学年が自主学習ノートを用意する。
- ・「基礎基本の定着を目指すための家庭学習」と「授業につながる家庭学習」をバランスよく充実させるために、カードを活用したり、直接表を書いたりして自学に取り組みさせる。
- ・学年の実態に合わせた3つのレベル別学習を示し、実施する。
(山潟中学校区学習スタンダード)
- ・三校連携で家庭学習強調週間を設定し、家庭学習の定着を図る。

(2) iPad活用の充実

- ・家庭学習でiPadの活用を図る。